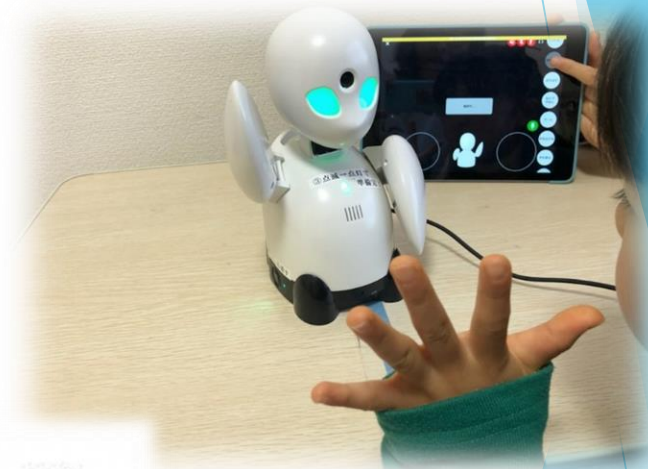


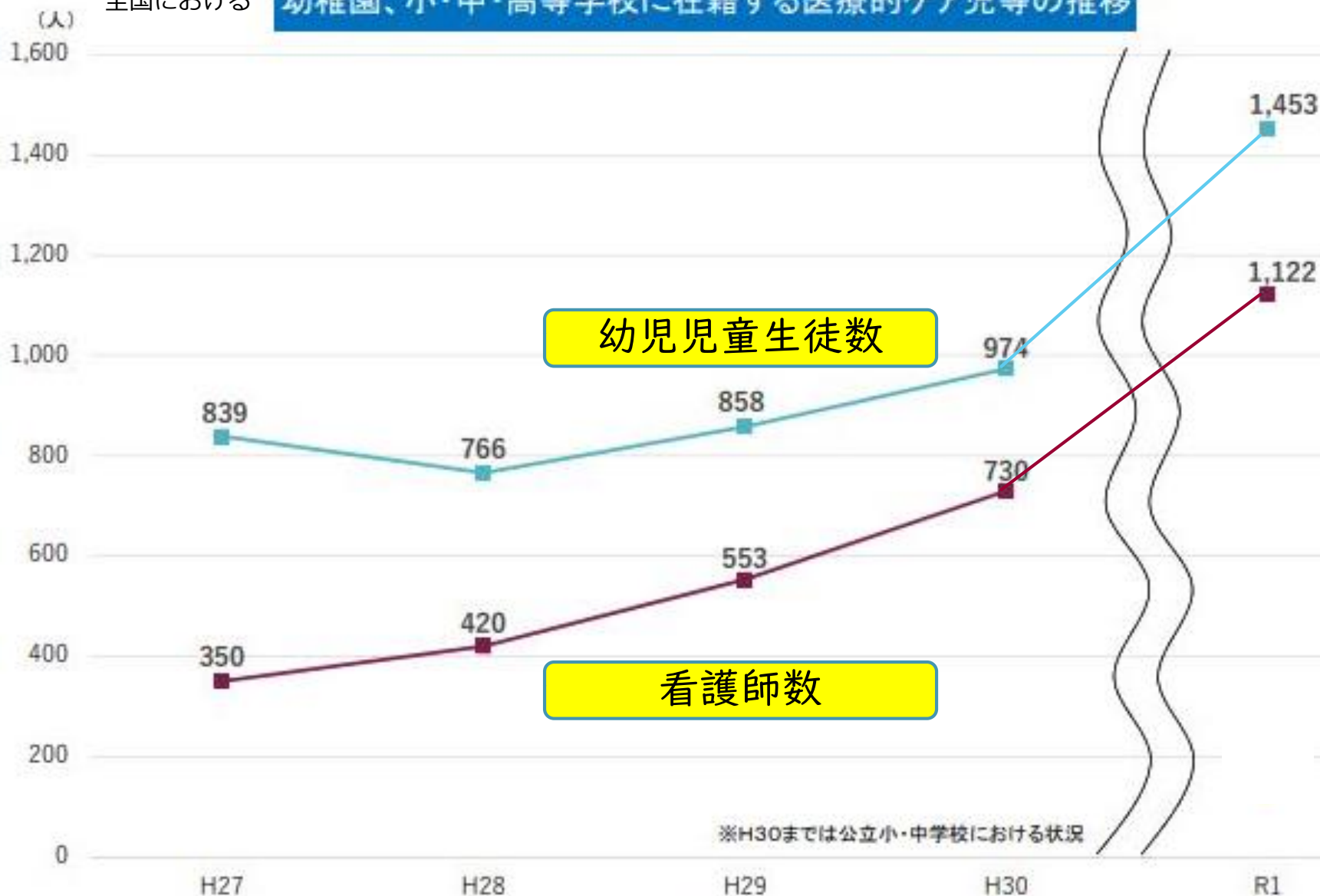
総合教育会議

桑名市における医療的ケア児等への 支援の推進について



全国における

幼稚園、小・中・高等学校に在籍する医療的ケア児等の推移



幼児児童生徒数

看護師数

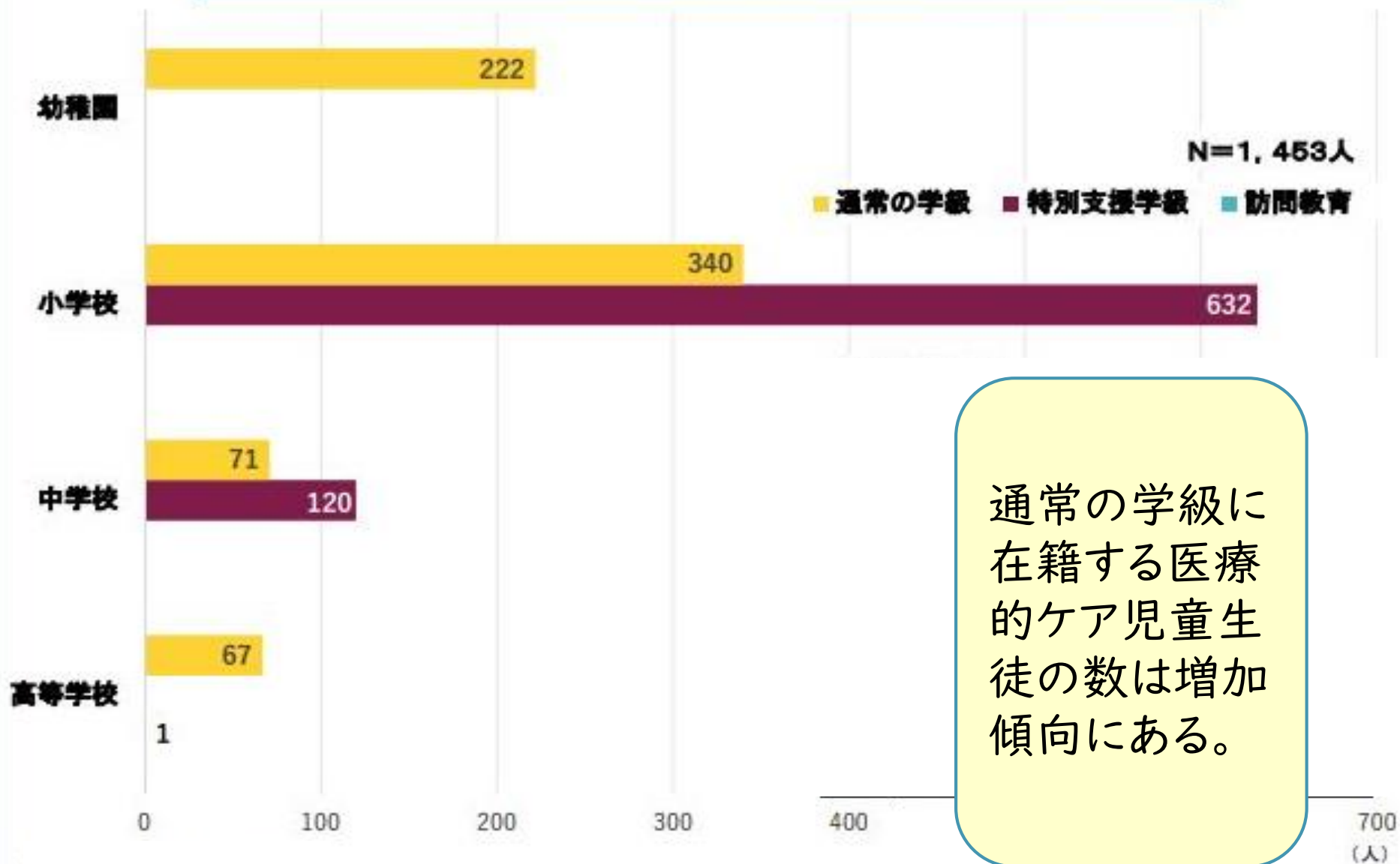
※H30までは公立小・中学校における状況

資料名「文科省初等中等教育局特別支援教育課『医療的ケアの現状』より

■ 幼児児童生徒数 ■ 看護師数 ■ 教職員数

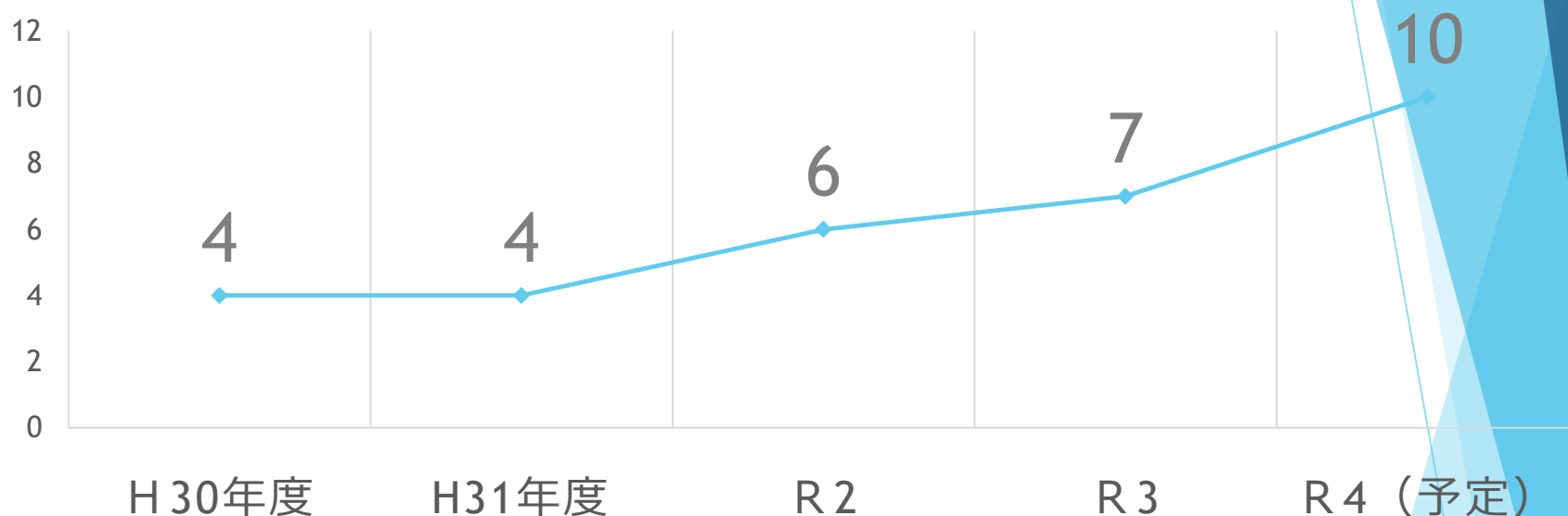
全国における

幼稚園、小・中・高等学校に在籍する医療的ケア児の数(学校の種類別)



通常の学級に在籍する医療的ケア児童生徒の数は増加傾向にある。

桑名市における 医療的ケアを必要とする幼児児童生徒数 R4.4月現在



10名の内訳

I 型糖尿病 8名 (5歳児 1名 小学生 5名 中学生 2名)
人工呼吸器 1名 (小学生 1名)
気管切開 1名 (小学生 1名)

医療的ケア
(呼吸器管理)
を受けながら
みんなと一緒に
学習をする
児童の様子。

国語の音読
をしています。





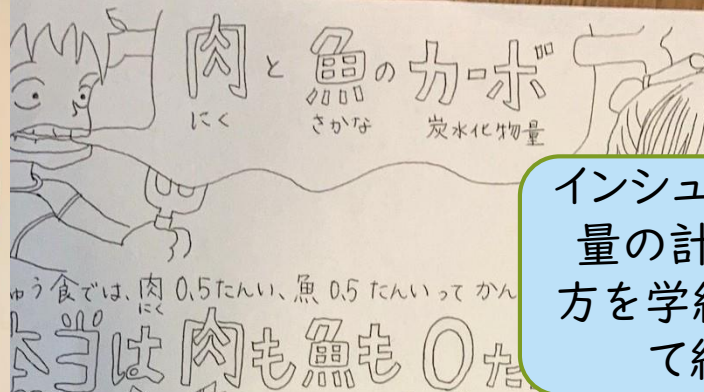
足の指を使い、ノートを取ります。足元が見えにくいので書画カメラを使い、モニターを見ながら文字を書いています。



看護師が行うケアには呼吸器管理のように常時ケアが必要なものから、1日に数回～数十回痰を吸引したり、食事や運動の前後に血糖値を測定しインスリンを注射したりするものがあります。

園・学校看護師自作の医療的ケア教材や資料

糖尿病1型について分かりやすく子どもに紹介しています。



インシュリン投与量の計算の仕方を学級新聞にて紹介



水分摂取を促す
手作り教材

1型糖尿病について学ぼう会
を学級で実施

みんなの
いっしょんコーナー

1がたとういよう病で、アレルギーがある人はいますか？
ーさわたももか、ちゃんより

もちろんアレルギーがある人もいます。
1がたとういよう病の人にとってインスリン注射は
とても大切だけど、インスリンの薬にアレルギーがでて
しまう人もいるよ。

この人だ〜れに...
今シーズンで、プロ野球選手を引退する 阪神タイガースピッチャーの 岩田 稔 投手。
小学1年生から少年野球をはじめ、高校2年生の冬に1型とういよう病になっても夢をあきらめず、プロ野球選手として活やくれた人です。
元巨人のピッチャー、カリクソン投手も1型とういよう病であり、プロ野球で活やくれた人で、岩田投手は、カリクソン投手の本を読んで、「自分もやっていた」と思えるようになったそうです。

1型とういよう病の希望の星になりたい
そう言て、プロ野球に入った岩田投手からたくさんの方が希望やあきらめなことの大切さを感じたと思ひます。
岩田投手も本を出しているので、きょうりかあれば読んでみてね

令和4年度より巡回看護師を導入

文部科学省の「学校における医療的ケア実施体制構築事業」を活用し、看護師配置校に対し、巡回看護師が定期的に巡回し、子どもや保護者が安心できる、より質の高い安全な医療的ケアを目指す。

訪問先の看護師が抱えている悩みやケア内容の相談にのる。

訪問先の看護師と保護者の連携を支援する。

医療的ケアに関する看護師への助言を行い力量の向上を目指す。

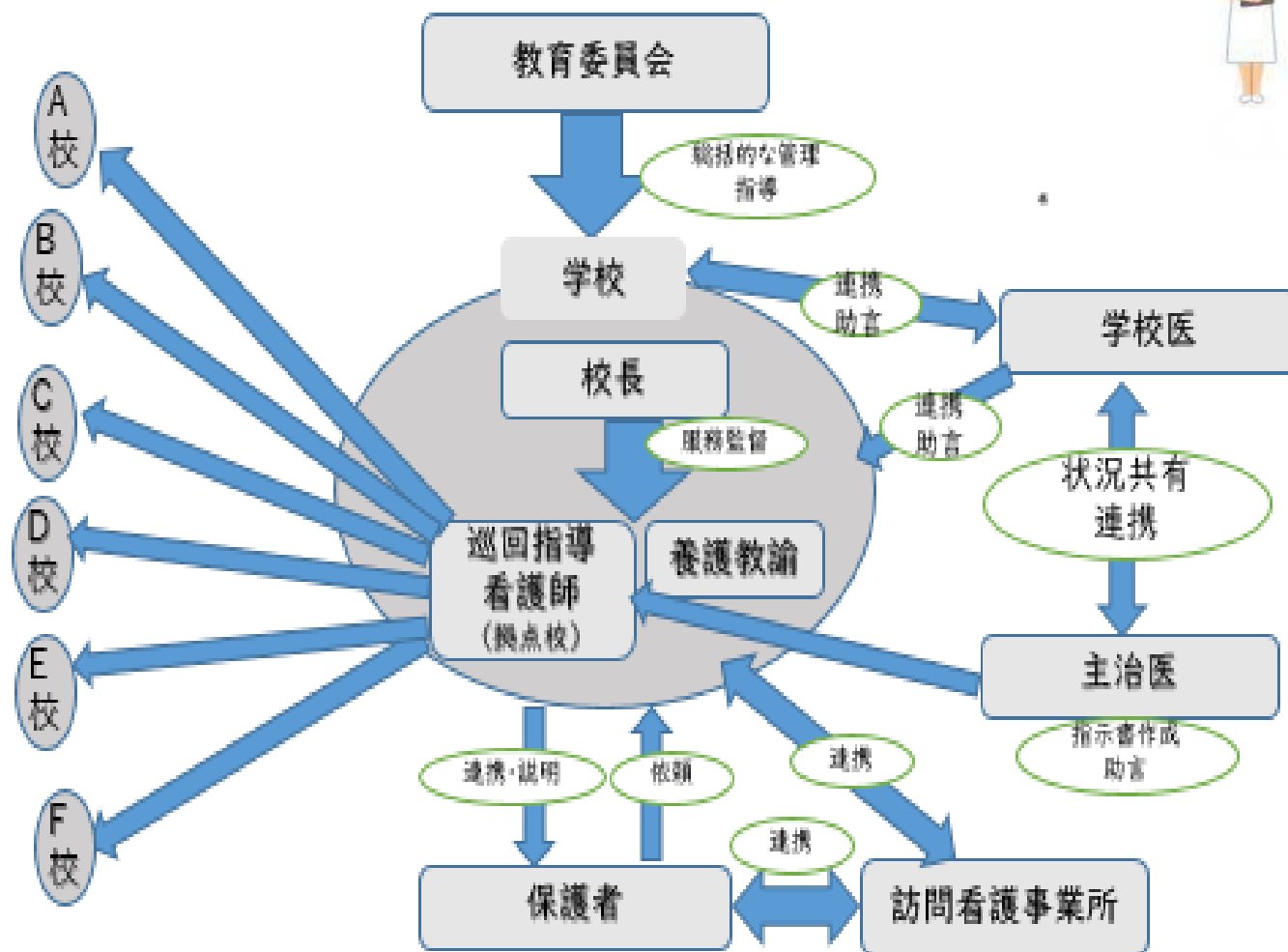
巡回看護師がケアを行い、その間に園・学校看護師は休憩時間を取る。

巡回看護師がケアを行い、その間に在籍看護師が保護者と面談をする。

園・学校看護師が休暇の際に、巡回看護師がケアを行う。



実施体制図



総合的な助言

eケアネット

eケアネットとは…
医療的ケアを必要とする障害児の家庭生活を支援する医療・福祉・保健・教育・行政で作る連携ネットワーク
様々な職種の人でひとりひとりの事例についてどのような支援ができるかを考える組織

令和元年度から令和4年度までの肢体不自由児の就学状況

令和4年4月時点の状況

令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
名前	年齢	学年	名前	学校名	学年	名前	学校名	学年	名前	学校名	学年
1	星見ヶ丘小	1		七和小	5歳児		七和小 (車いす)	6		正和中 (車いす)	1
2	藤が丘小	1		星見ヶ丘小	2		星見ヶ丘小 (バギー)	3		星見ヶ丘小 (バギー)	4
3				藤が丘小	2		藤が丘小 (バギー)	3		藤が丘小 (バギー)	4
4				城東小	1		城東小 (車椅子)	2		城東小 (車椅子)	3
5							星見ヶ丘小 (バギー)	1		星見ヶ丘小 (バギー)	2
6										多度中小 (バギー)	1
7										益世小 (手びき)	1

3年間で約3.5倍になっている。
北勢きらら学園等への就学では
なく、地域の学校を選択される
本人・保護者が増えている。

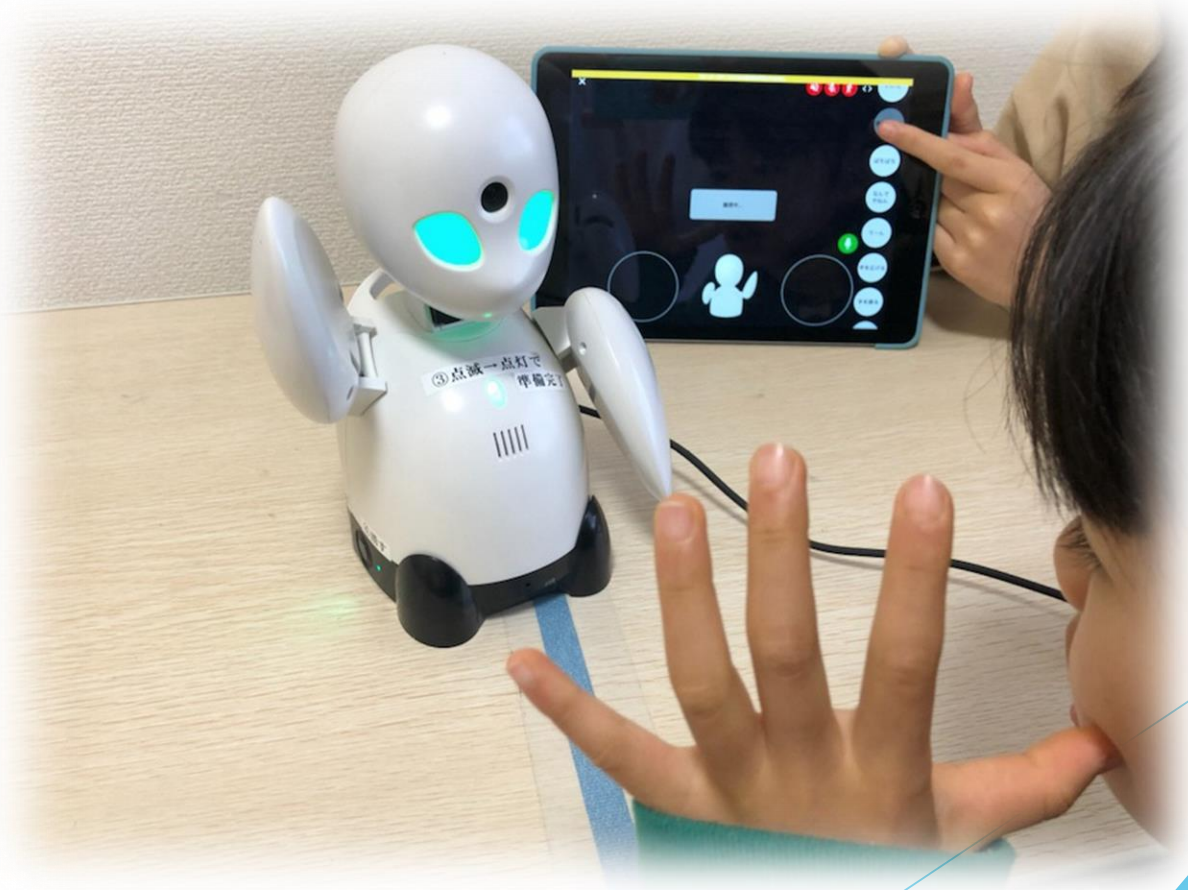


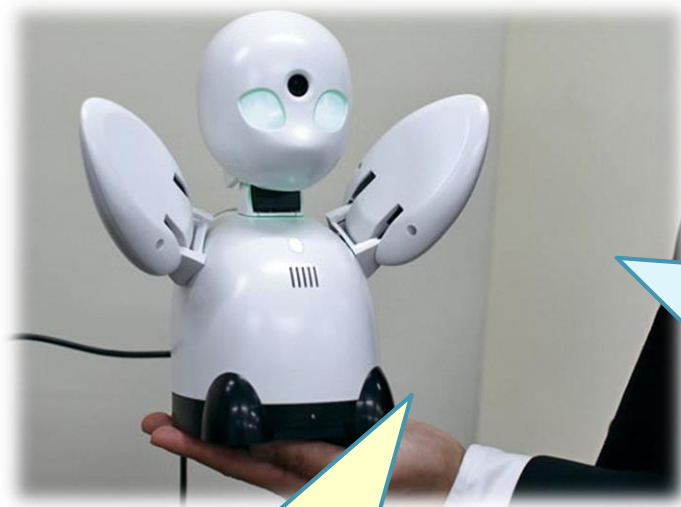
それぞれの障害
に応じたバギー
や歩行器などを
活用し、友達と
一緒に活動する。
砂遊びを楽しむ
様子。



姿勢が安定する
ような机やいす
を使用します。
他の幼児と共に
幼稚園で生活し
ています。

分身ロボット OriHime (おりひめ)





担任の先生の声

子どもの学習を途切れることなく継続できたことがよかった。保護者も喜んでいた。OriHimeを設定する学校側としては、準備はそれほど大変ではない。

学校に出てきたときに、体調面によって教室にすぐに入れなかったときであっても、別室で授業を受けることができた。体調によってはソファで横になりながらも、授業を受けることができた。

周りの子どもたちと休み時間に話をすることができた。継続して友だちと関わりをもつことができた。長期間休んだあとでも学校に不安なく行くことができたと聞いている。



音声だけ聞くこともでき、子どもの体調面に合わせて利用することができた。

OriHimeを遠隔で操作できることを子どもは楽しみにしていた。実際に動いているところをZOOMで見ることができ、本人も喜んでいた。

保護者・本人の声

朝起きられなくなってきた、登校しにくくなったときも、OriHimeを活用した。1、2時間目は自宅から授業を受けて、3限目から登校した。子どもの状態に応じて対応できたのがよかった。

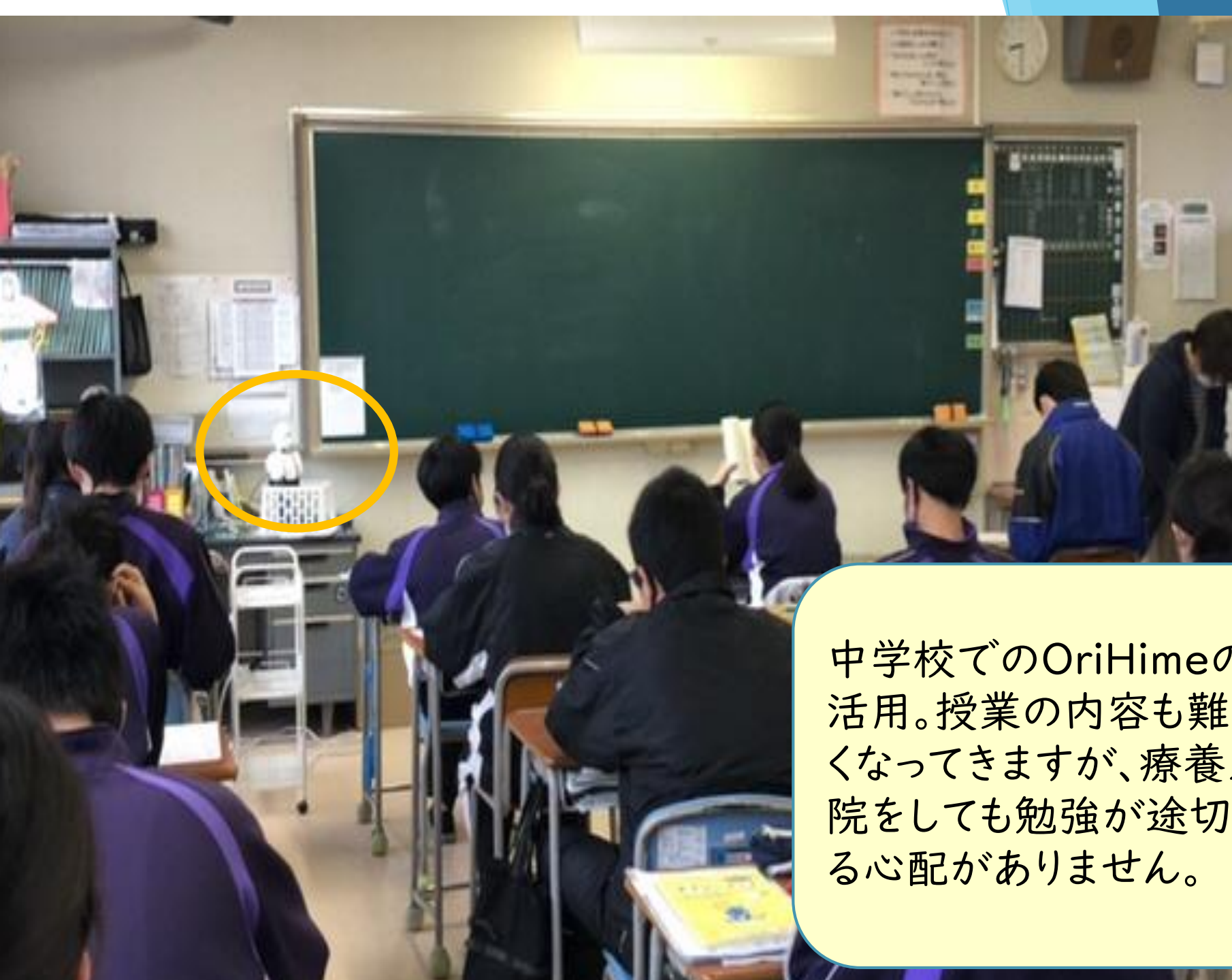
子どもが学校に行きやすくなった。
OriHimeによって勉強が遅れないので、続きの学習ができる。

小学校での
OriHimeの活用。
自宅からおりひめ
を操作し、友達と
一緒に授業に参加
しています。





友達と同じように
手を挙げて意見を
発表します。休
み時間は友だち
とのおしゃべりに
花を咲かせます。



中学校でのOriHimeの活用。授業の内容も難しくなっていますが、療養入院をしても勉強が途切れる心配がありません。



首の向きを自由に変えて、教室の様子を見ることができます。

反対に自分の入院中の姿を友達に見られることがないのでベッドの上でも安心して授業を受けられます。



友だち全員の様子も見ながら
一緒に学習できます。
仲間とともに学習したり会話し
たり、時間と空間を共有するこ
とができます。

医療的ケア等に関する今後の課題

医療的ケア児の学校生活においては、看護師による医療的な関わりと教員による指導支援が重なりあって行われている。看護師と教師による連携や協力、情報共有が非常に重要であり、今後いっそうの連携を図るための「校内安全委員会」等の設置を進めていきたい。

該当児の抱える病状や医療的ケアについて、周りの児童の理解を深めながら、該当児と支え合う友人関係を築いていくことが重要である。また、該当児が活動しやすい教室配置や設備の工夫、宿泊学習・修学旅行等における泊を伴う看護師の確保や安全な医療的ケア等についてさらに研究・検討を進めていきたい。

園・学校看護師は極めて少数職種であり、医師の指示書に基づき、基本的に一人でケアを実施する。また、心情的に休暇が取りにくい現状もあり、令和4年度からの「巡回看護師」導入により、園・学校看護師の勤務改善及び安心・安全な医療的ケアの提供に向けていっそう取組を進めていきたい。